

第7章

スマート・テロワールを支える仕組み

地域の食産業システムの改革をリードする大学の使命

プラットフォームという基盤

- 自給圏において食産業が実践において直面する課題を相談する機関
- 地域の食産業に横串を通す機関
- 米国の州立大学はプラットフォームの機能を体現している
 - 品種開発、栽培法、収穫法、貯蔵法、輸送法などの分野での技術開発、改善についての研究、教育機関
 - 人材育成、供給機関

ジャガイモ業界のプラットフォームづくりの挑戦

- アイダホ州立大学ポテトリサーチ・センター
 - アイダホの農民が資金を拠出して、大学とコラボしてポテト研究所を設立した
 - 最終消費者のために
 - 品種開発、栽培技術研究開発、収穫・搬送・貯蔵技術研究開発
- 農家、加工業者、販売業者のインテグレーション

日本のポテトチップス産業は米国のプラットフォーム活用で1000億円産業に成長

- 欧米のプラットフォームに支援を受けながら成長して来た
- アイダホ州立大学ポテトリサーチ・センター
 - フレンチフライ用ジャガイモに特化
- ノースダコダ・ポテトリサーチセンター
 - ポテトチップス用ジャガイモに特化
- 英国スコットランド、ルーラル大学
- 最近では日本のプラットフォーム構築が進んで来た
 - 情報プラットフォームとしての「ポテカル」誌
 - 「バレイショ遺伝資源開発研究所」（帯広畜産大学）
 - 帯広畜産大学とウイスコンシン州立大学との土壌研究をめぐる連携

農村が元気な先進国、農村が衰退する日本

- 育種活動の重要性
- 育種活動は統合型循環システム



自給圏には、地域に応じたプラットフォームが必要

加工品の質を左右するプラットフォーム

- 加工品は複雑な技術を駆使して作物のDNAに秘められた特性を引き出す
 - 加熱、発酵
- 加工品の原料作物には美味しさの鍵となる化学的品質が求められる。美味しさの追求にプラットフォームの支援は不可欠
 - 美味しさの要素
 - 外観、香り、食感、味
 - 食感は作物の細胞壁が左右する、細胞壁はカルシウムが左右する
 - 畜肉の場合食感は動物の運動量に左右される
- 最大の脅威であるウイルスに対する防御についてもプラットフォームの支援は不可欠
- 土壌分析と分析に基づく最適な施肥、農薬、堆肥の使用体系の選択もプラットフォームの支援が不可欠
 - 微生物の定量分析
 - 土壌診断

格好のモデル

- カリフォルニア・ワインを世界品質に高めたロバート・モンダビの戦略
 - ボルドーの四つの銘醸のうち、ロートシルト社と提携する
 - カリフォルニア大学デービス校の科学的アプローチと継続的な人材供給を受ける
 - 高級フランス料理店を招致する
- オーパスワンの誕生

産地認証制度を生かす

- 2014年特定農林水産物等の名称の保護に関する法律
- 地域ブランドを立ち上げて育成する